特定小電力レピーター
（総務省技術基準適合品）

ＤＪ－Ｐ３０Ｒ

取扱説明書

アルインコ　特定小電力レピータを、お買い上げ頂きましてありがとうございます。
本機の機能を十分に発揮させて、効果的にご使用頂くため、この取扱説明書を使用前に、
最後までお読み下さい。
また、この取扱説明書は、必ず保存して下さい。

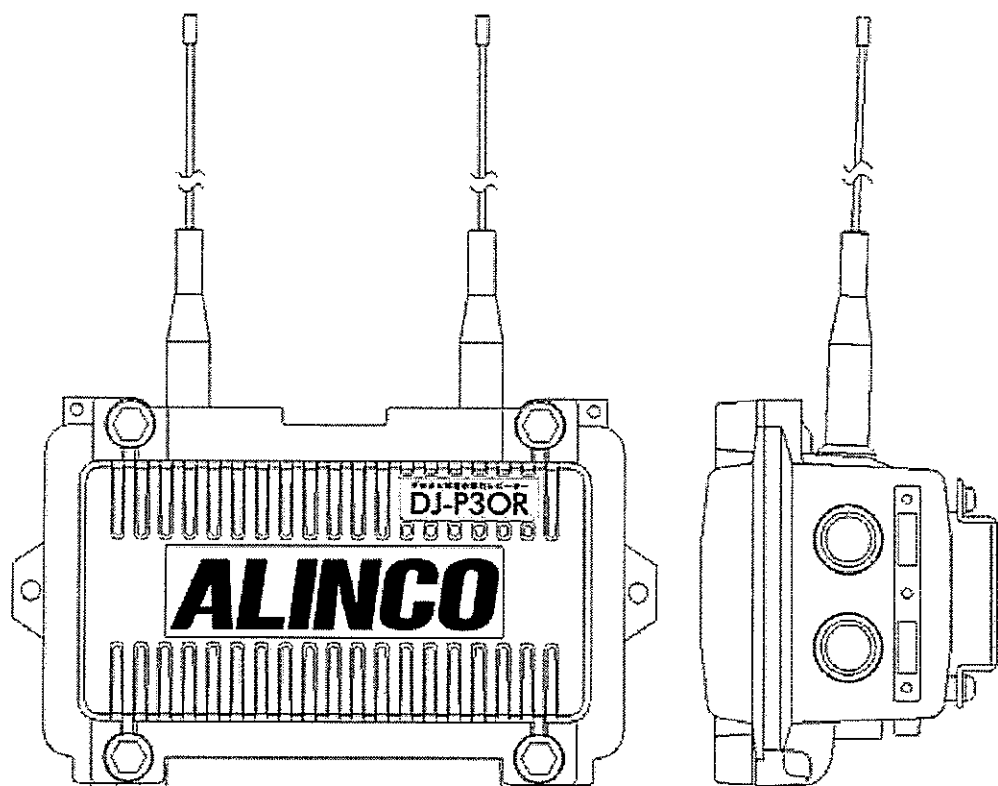
本機に貼ってある証明ラベルや製造番号ラベルをはがしたり、内部ビスなどを取り外し改造を
行った状態で運用する事は、法律で禁止されており法令により罰せられる事があります。

使用上の注意：

本機は技術基準適合品ですが、使用場所によっては電波障害を引き起こす事があります。
航空機内、空港敷地内、病院及び、その周辺、電車内などでは使用を避けて下さい。
また、日本国内のみで使用して下さい。

設定場所は、周囲の温度が極端に高い場所、また極端に低い場所、海水が直接被る所、
落雷の危険がある所は避けて下さい。

本機は技術基準適合品のため　改造、変更は禁止されています。
分解、改造して使用しないで下さい。

1. 外観

2. 付属品

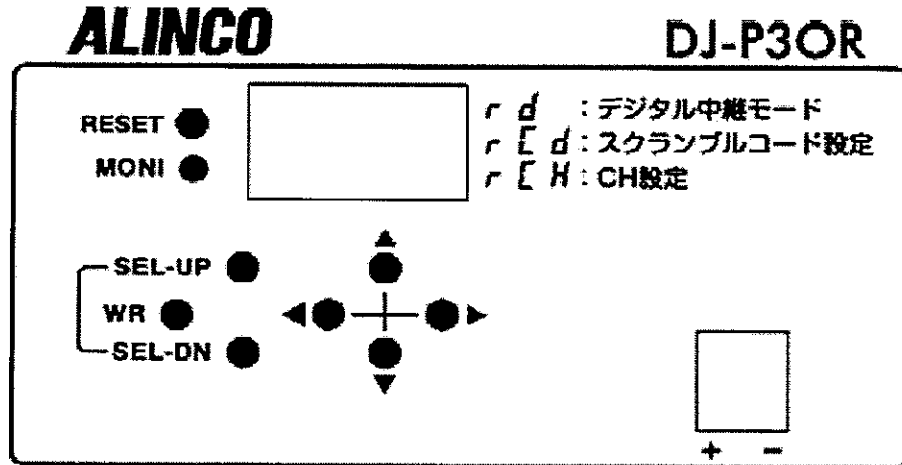
本機には、次の物が付属しています。
①ポールマウント、壁取付兼用金具一式
②取扱説明書
③ＡＣアダプター

3. 本機の特徴

①免許及び申請手続きは一切不要です。
②グループ機能に対応しています。
③防水防塵仕様で耐候性、耐久性にすぐれ、屋外設置可能です。
④アンテナは、１／２λ長で効率の良い通信が行えます。
⑤ＤＣ８Ｖ～１５Ｖで動作しますので、１２Ｖバッテリーが使用出来ます。
⑥本機は半複信通信２７ＣＨに対応しており、その中の任意のチャンネル設定通信が可能です。

4. 各部 名称及び動作

4.1. 設定部外観

ケース蓋を開けると図の様に、設定部が見えます。

4.2. 設定名称

4.2.1 ３桁７セグメント表示

各種設定状態、コード等を表示します。

4.2.2 ＲＥＳＥＴキー

リセットキーです。表示を電源起動時に戻す時に使用します。
リセットキーを押しても一度設定記憶した各機能設定値は消えません。
各機能設定値を変更する場合は、設定値変更後WRキーで保存して下さい。

4.2.3 ＭＯＮＩ ＬＥＤ表示

各種状態表示用ＬＥＤです。

受信電波がある場合	緑色点灯
ＤＪ－Ｐ３０Ｄの中継電波受信時	橙色点灯
各種設定書き込み	赤色点灯

4.2.4 ＷＲキー

各機能設定状態を記憶するためのキーです。 設定後このキーを押すと
ＭＯＮＩ＿ＬＥＤが一瞬赤に点灯し書き込みを確認出来ます。

4.2.5 ＳＥＬ－ＵＰキー

機能選択キーです。押すと上方向に機能が選択出来ます。

4.2.6 ＳＥＬ－ＤＮキー

機能選択キーです。押すと下方向に機能が選択出来ます。

4.2.7 ▲ キー

設定値を増やす時に使うキーです。
押す都度に数字が増え最大になると最小に戻りまた増えます。
ＯＮ ＯＦＦ設定の場合 ＯＮ ＯＦＦを繰り返します。

4.2.8 ▼ キー

設定値を減らす時に使うキーです。
押す都度に数字が減り最大になると最小に戻りまた増えます。
ＯＮ ＯＦＦ設定の場合 ＯＮ ＯＦＦを繰り返します。

4.2.9 ◀ キー

コード設定時の桁選択に使用します。このキーを押す都度に、桁選択が左側に
移動し左端から右端へ飛び左へ移動します。

4.2.10 ▶ キー

コード設定時の桁選択に使用します。
このキーを押す都度に、桁選択が右側に移動し右端から
左端へ飛び右へ移動します。

4.3. 設定内容

4.3.1 デジタル中継モード （ＬＥＤ表示： ｒｄ）

ＤＪ－Ｐ３０Ｄの電波を受信した時デジタルコード設定に関係なく
中継を開始するか、コード設定が一致した時だけ中継するかの
選択が出来ます。
ＯＦ　全コード対応中継　（初期値）
Ｏｎ　コード一致中継
設定後　ＷＲキーで記憶します。赤ＬＥＤが一瞬　点灯する事を確認します。

4.3.2 スクランブルコード設定 （ＬＥＤ表示： ｒＣｄ）

ＤＪ－Ｐ３０Ｄの設定コードと同じコードを設定する事が出来ます。
▲　▼　◀　▶キーでコード設定します。◀　▶キーで変更したい桁の
数字を選びます。点滅している数字が選択されています。コードは６桁で
構成されており上位３桁は７セグメントＬＥＤ右下にドット表示が点灯し
ます。下位３桁はドット表示が消えます。▲　▼キーでコード数字変更
設定後　ＷＲキーで記憶します。赤ＬＥＤが一瞬　点灯する事を確認します。

4.3.3 ＣＨ設定 （ＬＥＤ表示： ｒＣＨ）

使用する周波数ＣＨを設定します。
ＤＪ－Ｐ３０Ｄ表示に合わせＢ１２～Ｌ１８まで　▲　▼　キーで選択
設定します。設定後ＷＲキーで記憶します。 赤ＬＥＤが一瞬点灯する事を
確認します。Ｂ表示は　小文字ｂで表示されます。

4.3.4 スケルチレベル調整 （ＬＥＤ表示： ｒｒＣ）

設置環境でノイズが多い場合　スケルチレベル調整を
行う事でノイズの影響を少なくする事が出来ます。 設定は５段階の数字を
▲　▼　キーで選択設定します。　設定後ＷＲキーで記憶します。
数字が大きくなるほど スケルチレベルは上がりノイズの影響は減りますが
レベルが上がるほど弱い電波に反応しなくなります。 受信していない状態で
緑ＬＥＤが点灯しない最小のレベルに設定して下さい。初期値は２です。
設定後ＷＲキーで記憶します。赤ＬＥＤが一瞬　点灯する事を確認します。
変更したスケルチレベルはＷＲキーで設定後　反映されますのでノイズに
よるLED点灯状態は設定後確認して下さい。

5. 通信時間

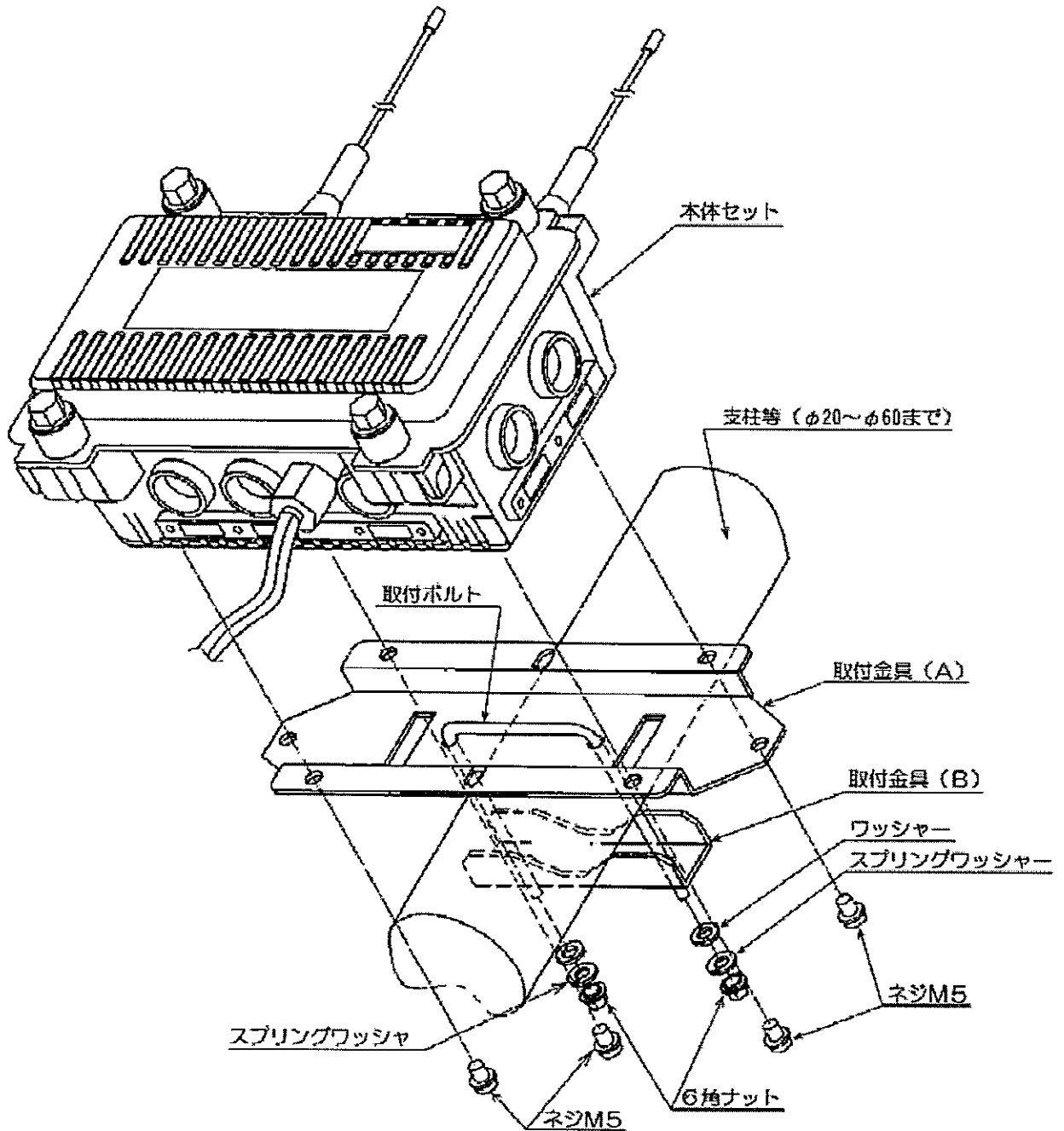
送信を始めて最大３分間送信可能です。３分を超えると自動的に送信を停止し
２秒間待機後、再度空きチャンネルを確認し空いていれば送信開始します。

6. 運用方法

ＤＪ－Ｐ３０Ｄ　２台以上　準備します。
ＤＪ－Ｐ３０Ｄのコードを合わせます。初期値中継モードは全コード対応
中継モードです。レピーターをコード一致モードで使用する場合は
レピーター側コードも合わせます。この場合コードが一致したＤＪ－Ｐ３０Ｄ
にしか反応しません。ＣＨ等必要な設定を行った後ＤＪ－Ｐ３０Ｄから送信し
ＤＪ－Ｐ３０Ｒが動作し、もう１台のＤＪ－Ｐ３０Ｄで正常に受信する事を
確認します。ノイズが多い環境でモニターＬＥＤが緑色に常時点灯している
場合はスケルチレベル調整でＬＥＤが消灯する最低レベルに調整します。
もしそのチャンネルに電波がある場合　チャンネルを変更して下さい。
実際の運用では２秒以上使っていない場合ＤＪ－Ｐ３０Ｄはレピーター
オープン動作から開始しますので約１秒遅れてレピーターが中継動作します。
そのため通話する場合その時間を考慮して通話して下さい。
レピーターオープン後はアナログレピーターより若干の遅れがある状態で
通話する事が出来ます。

7. 取付

取付出来るポールの径は２０～６０ｍｍφまでです。
６０ｍｍφ以上のポールに取り付ける場合はバインド材を使用して下さい。
壁に取り付ける場合　金具穴を利用して下さい。

8.　定格

一般仕様

項目	定格
送信周波数	421.5750～421.7875MHz　421.8125～421.9125MHz
受信周波数	440.0250～440.2375MHz　440.2625～440.3625MHz
通信方式	半複信
チャンネル数	２７ＣＨ
チャンネル間隔	１２．５ｋＨｚ
電波形式	F1E
発振方式	水晶発振周波数シンセサイザー方式
周波数安定度	±2.5ppm以下
定格電圧	ＤＣ８Ｖ～１５Ｖ　筐体接地
消費電流	最大１００ｍＡ　以下
接地方式	マイナス接地
空中線	λ／２　単一型　送受兼用　２．１４ｄＢｉ以下
使用温度範囲	－２０℃　～　＋６０℃
本体寸法	Ｈ１３０×Ｗ２１６×Ｄ９３　約２ｋｇ　突起物除く

制御部

項目	定格
送信時間制限装置	通信時間積算方式　３分以下
送信休止時間	２秒
センス方式	キャリアセンス

受信部

項目	定格
受信感度	－３ｄＢμ以下
受信方式	Ｌｏｗ　ＩＦ方式
キャリアセンス感度	６ｄＢｕ以下

送信部

項目	定格
送信出力	０．０１Ｗ　＋２０％　－５０％
占有周波数帯域幅	８．５ｋＨｚ以下
スプリアス発射強度	２．５μＷ以下
隣接チャンネル漏洩電力	搬送波に対して４０ｄＢ以下
変調方式	直接ＦＭ変調　（ＧＦＳＫ）
最大周波数偏移	±２．５ｋＨｚ以下

アルインコ株式会社

■電子事業部

●東京営業所　〒103-0027　東京都中央区日本橋２丁目３－２１　八重洲セントラルビル４階

☎０３－３２７８－５８８８（代表）

●大阪営業所　〒541-0043　大阪市中央区高麗橋４丁目４－９　淀屋橋ダイビル１３階

☎０６－７６３６－２３６１（代表）

●福岡営業所　〒812-0016　福岡市博多区博多駅南１丁目３－６　博多偕成ビル７階

☎０９２－４７３－０８３４（代表）

PS0465